生活の質の向上といわゆる寝たきり予防を目指したコホート研究

Cohort study for the better quality of life and prevention of bed-ridden

（課題番号　07457105）

平成7年度～平成9年度科学研究費補助金（一般研究B）
研究成果報告書

平成10年3月

研究代表者　上　島　弘　嗣

（滋賀医科大学医学部教授）

生活の質の向上といわゆる寝たきり予防を目指したコホート研究

Cohort study for the better quality of life and prevention of bed-ridden

（課題番号　07457105）

平成7年度～平成9年度科学研究費補助金（一般研究B）
研究成果報告書

平成10年3月

滋賀医科大学附属図書館
1997024266

研究代表者　上　島　弘　嗣

（滋賀医科大学医学部教授）

緒　言

わが国は世界一の長寿国であり、超高齢化社会を迎えつつある。単に長命であるだけでは不十分で、Quality of Lifeを維持した長寿社会を築く必要がある。滋賀県信楽町では、滋賀医科大学福祉保健医学教室（当時は保健管理学教室）と協同で、平成2年に町内の65才以上の全住民について訪問調査を行った。その結果、同町の寝たきりの原因として、脳卒中と大腿骨頚部骨折が明らかになった。そして、翌平成3年から同町では住民検診時に重点地区を設定し、100問にもおよぶ問診、血清の保存を合わせて行ってきた。それと同時に脳卒中、急性心筋梗塞、下腿骨折の発症を医療圏の基幹病院の入院カルテを閲覧して登録している。これにより、寝たきりやQuality of Lifeの低下をきたす疾患の発症動向を今後明らかにできると考えている。

本研究のような縦断的疫学研究は成果が出るまでに数年から十数年にわたり対象集団を観察することが必要である。本報告書はベースラインデータに関するものが大部分であるが、今後の追跡結果から21世紀の日本の福祉保健対策立案の資料が得られることを期待している。

研究組織

研究代表者：上島弘嗣（滋賀医科大学医学部教授）

研究分担者：岡山　明（滋賀医科大学医学部助教授）

研究分担者：喜多義邦（滋賀医科大学医学部助手）

研究経費

平成 7年度	3,800千円
平成 8年度	1,800千円
平成 9年度	2,000千円
計	7,600千円

研究発表

(1) 学会誌発表

1) SR Choudhury, Y Yoshida, Y Kita, and A Nozaki. Association between electrocardiographic ischemic abnormalities and ischemic heart disease risk factors in a Japanese population. J Hum Hypertens. 10, 225-34, 1996

2) 野崎昭彦、喜多義邦、上島弘嗣、岡山　明、平尾勝代、杉本智恵美、斎藤美緒、石堂民栄、西田裕紀子. 地域の成人病検診を活用した循環器疾患の疫学研究-循環器疾患死亡率の変化からみた本疫学研究の有効性に関する検討-. 日本循環器管理研究協議会雑誌、第31巻、3号、556-63、1997.

(2) 口頭発表

1) 野崎昭彦、平尾勝代、杉本智恵美、小林美緒、喜多義邦、上島弘嗣、岡山明、山川正信. 信楽町における循環器疾患および骨関節疾患に関する疫学研究第１報：成人病検診における重点地区設定の意義と問題点. 第51回日本公衆衛生学会、1992年10月21日.

2) 平尾勝代、野崎昭彦、杉本智恵美、小林美緒、喜多義邦、上島弘嗣、岡山明、山川正信. 信楽町における循環器疾患および骨関節疾患に関する疫学研究第２報：重点地区住民の検診結果データからみた健康度の把握. 第51回日本公衆衛生学会、1992年10月21日.

3) 喜多義邦、上島弘嗣、岡山　明、山川正信、野崎昭彦、平尾勝代、杉本智恵美、小林美緒. 信楽町における循環器疾患および骨関節疾患に関する疫学研究第３報：重点地区住民の愁訴からみた健康度の把握. 第51回日本公衆衛生学会、1992年10月21日.

4) 野崎昭彦、平尾勝代、杉本智恵美、小林美緒、喜多義邦、上島弘嗣、岡山明、山川正信. 信楽町における循環器疾患および骨関節疾患に関する疫学研究第４報：成人病検診受診率の変化からみた重点地区活動の有効性. 第52回日本

公衆衛生学会、1993年10月20日.

5) 野崎昭彦、平尾勝代、杉本智恵美、小林美緒、喜多義邦、上島弘嗣、岡山明、山川正信. 信楽町における循環器疾患および骨関節疾患に関する疫学研究第５報：運動習慣と血圧および血清脂質との関連に関する研究. 第53回日本公衆衛生学会、1994年10月13日.

6) 平尾勝代、野崎昭彦、杉本智恵美、小林美緒、喜多義邦、上島弘嗣、岡山明、山川正信. 信楽町における循環器疾患および骨関節疾患に関する疫学研究第６報：食習慣と血圧および血清脂質との関連に関する研究. 第53回日本公衆衛生学会、1994年10月13日.

7) 斎藤美緒、野崎昭彦、平尾勝代、杉本智恵美、喜多義邦、上島弘嗣、岡山明、山川正信. 信楽町における循環器疾患および骨関節疾患に関する疫学研究第７報：喫煙習慣と肥満および血圧との関連に関する研究. 第54回日本公衆衛生学会、1995年10月12日.

8) 野崎昭彦、喜多義邦、上島弘嗣、岡山　明、吉田康弘、ソヘルR.チョウドリ、平尾勝代、杉本智恵美、斎藤美緒、石堂民栄、西田裕紀子. 信楽町における循環器疾患および骨関節疾患に関する疫学研究　第８報：追跡調査開始時データの解析：血圧と心電図所見について. 第55回日本公衆衛生学会、1996年10月30日.

9) 喜多義邦、野崎昭彦、吉田康弘、岡山　明、ソヘルR.チョウドリ、上島弘嗣、平尾勝代、杉本智恵美、斎藤美緒、石堂民栄、西田裕紀子. 信楽町における循環器疾患および骨関節疾患に関する疫学研究　第9報：追跡調査開始時データの解析：脂質について. 第55回日本公衆衛生学会、1996年10月30日.

10) 平尾勝代、杉本智恵美、斎藤美緒、石堂民栄、西田裕紀子、野崎昭彦、喜多義邦、吉田康弘、上島弘嗣、岡山　明. 信楽町における循環器疾患および骨関節疾患に関する疫学研究　第１０報：重点地区検診後の禁煙活動と地区活動. 第55回日本公衆衛生学会、1996年10月30日.